

2003年5月16日

2003年3月期 決算説明会

業績の状況

ガチフロキサシン中期的状況

主要製品の状況

主要開発品の状況

杏林製薬株式会社

M & A : 帝人との統合見送りと今後の展開

1 . 帝人との事業統合見送り

1) 経緯

2003年1月23日：基本合意書締結

基本合意内容：帝人医薬医療グループの分社化 杏林製薬への事業統合
杏林製薬の連結子会社化

2003年4月23日：事業統合見送り合意

2) 理由

統合比率の不一致

* 現株価と将来性に関して企業価値を評価したが両社間の隔たりが大きかった。

2 . 今後の展開

今後も企業規模拡大（クリティカルマスの確保）のためにM & Aを積極的に検討

得意領域

〔	FC：呼吸器内科、耳鼻科、泌尿器科	〕	を強化できる組合せ
	FP：感染症、免疫・アレルギー、代謝性疾患		

成長の加速化を図る（アライアンス戦略強化）

2003年3月期 決算概観（連結）

売上面では、輸出がBMS社のガチフロキサシン過剰在庫問題などにより、昨年実績をマイナスしましたが、国内売上は新薬であるキプレスとガチフロの実績寄与により伸長し、連結売上高686億円（前年比10.0%増）と4年連続で過去最高を更新しました。利益面では、連結経常利益128億円（2年連続過去最高額更新:前年比4.9%増）、当期純利益41億円（前年比0.1%増）となりました。

単体では、売上高672億円（前年比10.1%増）、経常利益122億円（前年比3.6%増）、当期純利益36億円（前年比4.0%減）となりました。

来期は、ガチフロ売上やロイヤリティ収入の減少が見込まれるものの、キプレス、ムコダインなどの国内医薬品売上の増加により、連結売上高686億円（前年比0%）、連結経常利益113億円（前年比11.8%減）、連結当期純利益63億円（前年比52.9%増）を見込んでいます。

	00年3月期	01年3月期	02年3月期	03年3月期	前年比	連単倍率	04年3月期 見込み	前年比
売上高	52,776	55,832	62,395	68,618	10.0%	1.02	68,600	0.0%
営業利益	8,646	9,049	11,961	12,367	3.4%	1.00	11,000	11.1%
経常利益	8,795	9,786	12,210	12,805	4.9%	1.05	11,300	11.8%
当期利益	4,310	2,951	4,117	4,120	0.1%	1.13	6,300	52.9%
EPS	74.89円	51.27円	60.55円	47.21円			72.59円	53.8%
総資産	117,606	125,476	134,472	139,961	4.1%	1.01		
株主資本	97,868	99,750	102,356	105,318	2.9%	1.01		

2003年3月期 業績の状況(単体)

単位：百万円

	02年3月期 (実績)	03年3月期 (実績)
売上高	61,131	67,293
国内医療用	45,626	54,656
海外医療用	12,127	9,024
その他	3,378	3,612
営業利益	11,865	12,364
経常利益	11,816	12,241
当期利益	3,785	3,633

<当期のポイント>

売上高 67,293百万円 (+61億円)

国内医療用 54,656百万円 (+90億円)

= プラス要因 =

	前期実績	当期実績
新薬：・ガチフロ上市	0	47 (+47)
*杏林売上のみ		
・キプレス続伸	31	64 (+33)
・その他	32	65 (+33)

[その他のプラス要因]

- ・大日本製薬向けガチフロ売上及び契約一時金収入
- ・エーザイとの契約一時金収入など

= マイナス要因 =

*薬価改定に伴う仕切価の低下(薬価改定率8.2%)

主要既存品計	393	370 (-17)
・アプレース	43	34 (-9)
・ロカルトロール	38	30 (-8)

海外医療用 9,024百万円 (-31億円)

= マイナス要因 =

- ・ガチフロ 98
- * BMS社の過剰在庫により輸出大幅減

= プラス要因 =

- ・メルク、アラガンからの契約一時金収入

その他 3,612百万円 (+2億円)

- ・ミルトン 29
- 30 (+1)

営業利益 12,364百万円 (+5億円)

営業利益率は18.3%と1.1ポイント低下

- ・原価率...前年比±0(30.1% 30.1%)
- ・販管費率...前年比1.1ポイント上昇(50.5% 51.6%)

*販管費約38億円増：研究開発費、販売費等の増加

当期利益 3,633百万円 (-1億円)

- ・投資有価証券評価損等(約13億円)
- ・退職給付債務の償却(約31億円) 3年償却最終年

配当 17円50銭

2004年3月期 業績の見込み(単体)

単位：百万円

	03年3月期 (実績)	04年3月期 (見込み)
売上高	67,293	67,300
国内医療用	54,656	55,300
海外医療用	9,024	7,800
その他	3,612	4,200
営業利益	12,364	11,000
経常利益	12,241	10,900
当期利益	3,633	5,900

<当期のポイント>

売上高 67,300百万円 (±0億円)

国内医療用 55,300百万円 (+6億円)

=プラス要因=

	前期実績	当期実績
・ムコダイン	171	185 (+14)
・キプレス	64	94 (+30)
・ペンタサ	53	66 (+13)

=マイナス要因=

・ガチフロ	47	30 (-17)
・その他	65	40 (-25)

*大日本製薬向けガチフロの減少など

海外医療用 7,800百万円 (12億円)

=プラス要因=

・ガチフロ	51	65 (+14)
-------	----	----------

=マイナス要因=

・契約一時金収入の減少(メルク、アラガンなど)

その他 4,200百万円 (+5億円)

・ミルトン	30	31 (+1)
-------	----	---------

・OTC製品の拡充と売上寄与

* トークール(03年1月)

クールワン去痰ソフトカプセル(03年4月)

新発売

営業利益 11,000百万円 (13億円)

営業利益率は16.3%と2.0ポイント低下

・原価率...前年比上昇を見込む

* 契約一時金収入の減少、ガチフロ売上の減少

・販管費率...前年並みを見込む

* 研究開発費の増加(70.87億円)を見込むが販売費等の低減を図る

当期利益 5,900百万円 (+22億円)

・退職給付債務の償却(95億円:3年間)が、前年度で終了

配当 15円00銭の予定

主要製品の状況 ガチフロキサシンの全体像

地域 (販売企業)	上市予定					提携 その他
	錠剤	注射	小児適応	点眼	点耳	
日本 杏林製薬	上市 (2002年6月)	Ph	上市后 着手予定	千寿製薬 *02年末 申請中	準備中	錠剤は大日本製薬と 併売 (1ブランド2チャネル)
米国 BMS社	上市 (1999年12月)	上市	Ph / (現在 Ph)	アラガン社 *03年4月 上市	導出検討中	BMSはシェリング・プラウ とのコ・プロモーションを 2002年9月に解消
欧州 グリュネンタール社	ドイツ上市 01年11月	Ph /				その他上市国:チリ

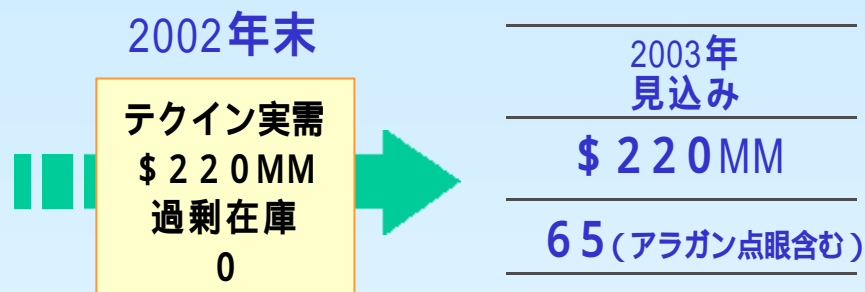
<発売国・地域>

メキシコ、プエルトリコ、米国、ブラジル、アルゼンチン、タイ、シンガポール、オーストラリア、フィリピン、南アフリカ、カナダ、インドネシア、グアム、チリ、ドイツ、ベトナム、マレーシア、ニュージーランド、エジプト、日本、韓国 計:21ヶ国

ガチフロ海外の状況： 米国BMS社2003年見込み

1. BMS社及び杏林 売上高見込み

	2000年 実績	2001年 実績	2002年 実績
BMS社売上 修正後(\$MM)	131	250	184
杏林売上 (億円)	55	98	51



単位：\$MM	2000年 実績	2001年 実績	2002年 実績	2003年 見込み	備考
BMS社売上	131	320	-	220	03年は横バイと予想
(下段修正)	131	250	184		
IMSデータ	189	270	253		02年9月以降30%減

< 2003年見込み \$220MMの想定根拠 >

- 1) BMS社の販売予測 (詳細は未公表)
- 2) IMSデータ及びBMS社との協議内容をもとにした杏林製薬の予測
 - ・02年売上推移を見ると1~7月は前年比プラスで推移するものの8月以降マイナスとなり10月より約30%減SPとのコ・プロ解消による影響度(9月より販売の人数は2500名から約1500名へ)
 - 糖代謝異常による影響は5月以降限定的なものと推測(2002年5月13日 添付文書改定)
 - IMSではカバー出来ないHP層では処方拡大

* 今期の見込みとして昨年度の上期分(\$150MM:IMSベース)の30%減の影響を考慮、下期は既に減少した実績(\$103MM)であるため通期では、\$220MMと予測した

ガチフロ海外の状況： アラガン社点眼液

・ 米国におけるガチフロキサシン点眼液の開発状況

= 開発の経緯 =

2000年8月：米国アラガン社とガチフロキサシン点眼液のライセンス契約締結

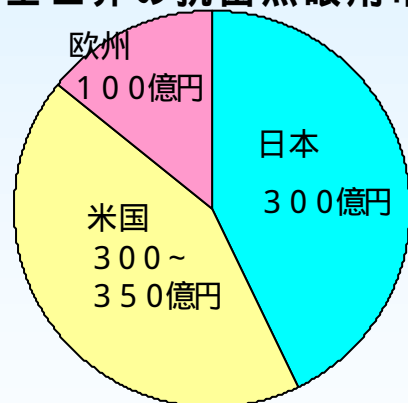
2002年5月：FDAに申請

2003年3月：承認

2003年4月：上市

・ 米国における抗菌点眼液の市場動向

全世界の抗菌点眼剤市場



2002年度

出典：杏林製薬

オフロキサシン (アラガン) - 90億円
シプロキサシン (アルコン) - 100億
クイクシン (参天)
アミノグリコシド系薬剤

- ・ 世界屈指の点眼剤メーカーであるアラガンの販売力に期待
- ・ オフロキサシンの特許切れ (03年9月)

・ ガチフロ抗菌点眼液の見込み

米国点眼剤市場：\$250MM~\$300MM

初年度売上：\$10MM以上を期待

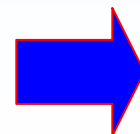
ピーク時現地売上：米国抗菌点眼市場のシェア20%以上

ガチフロ海外の中期的状況：MIC 05 計画の修正

MIC 05 計画立案時のガチフロキサシン売上目標と修正後の目標

- 2005年度 海外現地売上高
- ・現時点での目標はMIC 05 計画立案時（海外現地売上約600億円）の約50%減と予想
- ・プラス要因はアラガン社に導出した点眼液が売上に寄与

<u>2005年度目標</u>	当初の目標 (MIC 05 立案時)	現状での目標 (修正)
海外売上 * 現地売ベース	約600億円 約\$500MM	約300億円 \$220~230MM
プラス要因 * アラガン社点眼液	目標に含まず	\$50~60MM
当社の輸出売上目標	150億円	90~100億円



約50億円の未達を見込む

ガチフロ国内の中期的状況： 経緯と今後の対応

前臨床試験

前臨床試験では糖代謝異常の副作用はなかった

治験

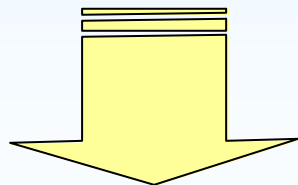
数千例の国内外治験時には糖代謝異常の副作用は1例も報告されなかった

海外発売

米国の上市後市販後調査(100万症例)において糖代謝異常の報告が数十例あり、2002年5月に米国の添付文書が改訂された(WARNING)

国内発売

国内市販直後調査(420万症例)において糖代謝異常の副作用報告が89例あり、2003年3月に国内添付文書が改訂された(糖尿病;禁忌)
市販直後調査により当副作用を検出できた(有用な調査だったと考える)



2003年3月7日：緊急安全性情報配布指示(厚生労働省より)

【指示内容】・糖尿病の患者に投与しないこと

・糖尿病の既往の有無を充分確認すること

・糖尿病患者以外にも低血糖、高血糖が報告されているので充分説明すること

今後の対応

- ・ 重大な事故につながらないよう適切な情報提供を実施する
- ・ 2003年4月より新たな市場を設定しリ・スタートする
- ・ 市場の再構築を行いガチフロの最大化を図る

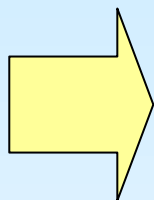
ガチフロ国内の中期的状况： ピーク売上見込み

1. 市場の影響度と目標値

1) 従来の対象市場と当初の目標

2100~2200億円

経口抗菌剤のうち成人に対して使用される市場を全て対象としていた



経口抗菌剤市場（成人用）でのシェア
20%を目指す

売上高指標：約400億円

* 杏林、大日本両社合計売上

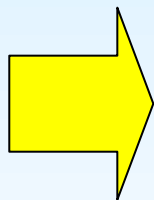
2) 新しい対象市場と修正後の目標

1600億円

糖尿病患者をすべて除く

高齢者：用量調節による減少

・ 65歳以上の患者において糖代謝異常の副作用発生頻度が高いことから高齢者では低用量（200mg/日）での処方を想定した



1600億円の市場の中で特に下気道感染症（330~350億円）、難治性感染症（130~150億円）ではシェア20%以上を目指す

売上高指標：約100~150億円

* 杏林、大日本両社合計売上

2. キョーリンMIC-05計画（2005年度）への影響度

国内売上

国内でのキョーリン売上高（キョーリン売上+大日本向け売上）への影響

MIC-05計画としてガチフロ錠として当初目標から約200億円の未達を見込む

全体売上

国内外を含めたキョーリン売上高への影響

MIC-05計画の当初目標1000億円に対してガチフロの影響で約250億円程度の下方修正を見込む

MIC - '05 計画の展望について

中期経営計画「キョーリンMIC-'05計画」につきましては、
ガチフロキサシンの市場動向などを精査した上で、修正計画を
開示させていただく予定です

主要製品の実績と見込み： ガチフロ錠

◆ ガチフロ錠2003年3月期売上実績と2004年3月期売上見込み

2003年3月期実績	2004年3月期見込み	
47億円(19億円)	30億円(9億円)	* ()内は中間期

◆ 2004年3月期の見込み

1. 2003年度上期の対応

- ・副作用再発防止に向け安全性情報提供の徹底
- ・採用先への説明による納入軒数の確保
- ・HP層の採用継続促進



4～9月は感染症の減少する時期でもあり
月商1～2億を見込む

2. 2003年度下期の対応

- ・ガチフロの有効性/安全性の高い領域の明確化
- ・下気道・難治性感染症でのシェア確保
- ・副作用発生メカニズム解明の推進



10～3月はRTIの増加シーズンであり、適正使用情報の徹底により再構築する
月商3～4億を見込む

主要製品の実績と見込み: キプレス

1. 2003年3月期売上実績と2004年3月期売上見込み

03年3月期 実績

64億円(25億円)

04年3月期 見込み

94億円(43億円)

* ()内は中間期

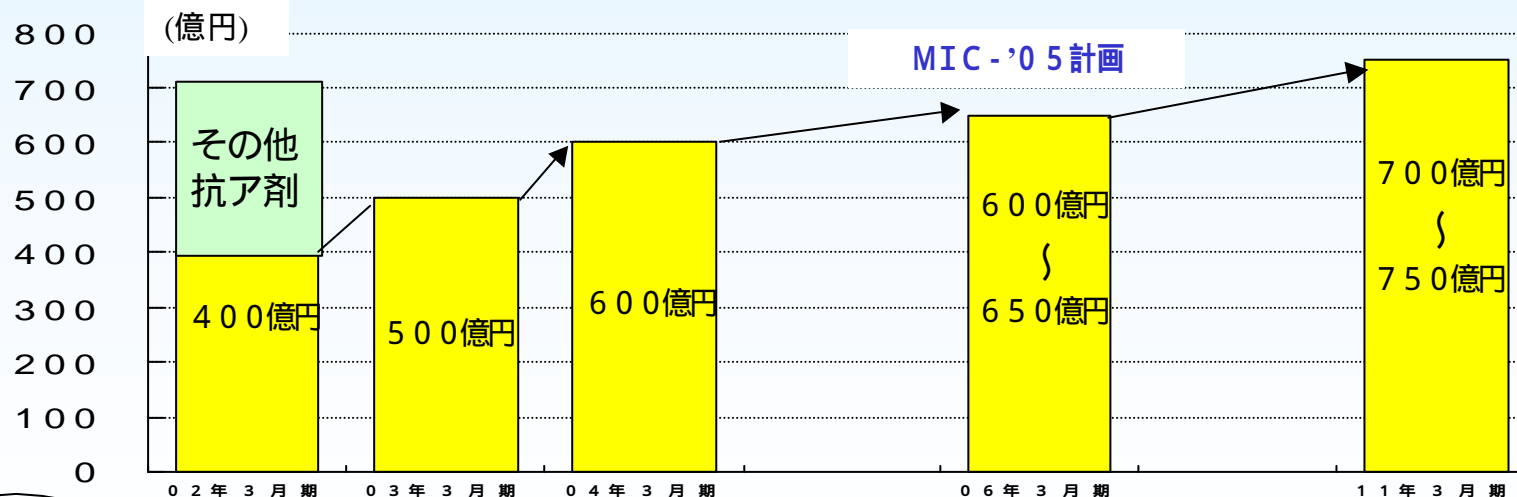
2. 2004年3月期プロモーション

1) 行動・施策シフトによる症例の早期獲得

- ・03年3月末での実力75,000症例を04年3月末90,000症例へ
(02年9月末の実力は50,000症例で、長期処方許可により大きく拡大)
- ・特に上期の行動集中(訪問/コール数拡大/卸店政策)

2) 層別政策

- ・HP層: 既納入先専門医の処方拡大 1600軒 - 約5000症例拡大
- ・GP層: 新規納入と症例拡大 新規納入1800軒確保 14000軒 - 約7000症例拡大



出典: 杏林製薬
市場: 薬価換算
売上: 販売額

上市
01年8月

キプレス 8%
31億円

キプレス 13%
64億円

キプレス 16%
94億円



キプレス 25%

喘息患者の増加 年間3% (新患獲得)
抗ア剤からのLT拮抗剤へのシフト

主要製品の実績と見込み： ムコダイン

◆ ムコダイン2003年3月期売上実績と2004年3月期売上見込み

<u>2003年3月期実績</u>	<u>2004年3月期見込み</u>	
<u>171億円(74億円)</u>	<u>185億円(81億円)</u>	* ()内は中間期

◆ 当期計画の背景

1. 04年3月期方針

- 剤形追加によるシェア拡大
- コール数アップによる新規処方医師・新規採用先の拡大

2. ムコダインドライシロップ

- 小児適応拡大による小児領域でのシェアアップ
- 処方メリットを訴求(服用しやすさ、長期処方など)し、K-10、細粒剤からの切替による売上増

3. 製品ラインナップの充実

- キプレス、バイナス、ムコダインのシナジー効果

主要開発製品の状況： マクサルトの概要

・作用機序 第2世代トリプタン系片頭痛治療薬（類剤：イミグラン、ゾーミック等）
選択的な5-HT_{1B/1D}受容体作動型片頭痛治療剤

・開発ステージと上市見込み

2001年11月：製造承認申請 2003年5月：医薬品第一部会通過
2004年3月期：承認予定（今期の売上見込みには織り込んでいない）

・剤形と製品プロファイル

錠剤（10mg）RPD（口腔内速崩製剤；10mg）

片頭痛発現後の投与において速やかに効果が発現する。

・投与1時間後より効果発現、2時間後約70%の改善率

片頭痛の再発例や複数の片頭痛発作に対して一定した有効性が認められた

・エーザイとの販売提携のスキーム

当社が製品（完成品）を米国メルク社より輸入し、エーザイ（株）に供給する
日本国内における発売元はエーザイ（株）とし、プロモーション活動を両社で行う
両社は、売上から両社の販売経費等を控除した利益をシェアする

・市場性 約80億円（2003年3月期）

市場動向：片頭痛の有病率は人口比約8.4%で、約840万人が片頭痛発作を経験している
と推定。そのうち受診患者数は約32万人で、市場は大きく拡大される
可能性が高いと推測。

潜在市場の開拓：4番目の新薬ではあるが、神経領域において国内にきめ細かい
ネットワークを有しているエーザイとのコ・プロモーションにより
潜在市場の開拓を図る

開発品一覧 (2003年3月31日現在)

開発段階	製品名・開発コード	薬効	起源	特徴	備考
申請 (02年2月)	N-3389 (錠)	制吐剤	日清製粉	5-HT3と5-HT4拮抗作用を併せ持つ。	日清キョーリン製薬が単独で申請 ・日清製粉グループ 日清ファルマと 共同開発
申請 (01年11月)	マクサルト錠 マクサルトRPD	片頭痛治療剤	メルク社	強力な5-HT1B/1D作動薬。片頭痛発現後の投与において速やかに効果を発現する。再発例に対しても改善効果を示す	日本国内における開発は万有製薬が実施し、杏林製薬が承認申請 独占的販売権を杏林製薬が取得 *エーザイとコ・プロモーション
Ph	ペキロン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	自社	日本初のネイルラッカー製剤。	マルホと共同開発
Ph	KRP-197 (錠)	尿失禁治療剤	自社	抗コリン作用が強く、口渇等の副作用軽減が期待される。	海外：英国においてPh 終了(CRO活用) 国内：小野薬品工業と共同開発・販売 *Ph 終了
Ph	モンテルカスト	気管支喘息治療剤	メルク社	小児(1歳~5歳)用の新規製剤	剤形追加 用法・用量の変更 ・万有製薬と共同開発
Ph	KRP-297 (錠)	糖尿病治療剤	自社	インスリン抵抗性改善作用と糖尿病に伴う脂質代謝異常にも効果。	海外：米国メルク社に導出(99年9月) *02年末Ph 国内：万有製薬と共同開発
Ph	ガチフロ注	合成抗菌剤	自社		剤形追加
Ph	N-5984 (錠)	糖尿病治療剤 抗肥満剤	日清製粉	選択性の高い 3受容体作動薬。高血糖及び耐糖能、高インスリン血症を改善すると共に血漿中TG、FFAを低下させる。	・日清製粉グループ 日清ファルマと 共同開発
Ph	*KRP-101	高脂血症治療剤	自社	PPAR の選択的agonist。LDLコレステロールおよび中性脂肪を低下させ、HDLコレステロールを高めることにより、トータルの脂質プロファイルの改善が期待できる。	海外：英国においてPh 開始(4月)

開発品一覧 (2003年3月31日現在)

その他の開発品 (一部変更承認)

開発段階	製品名・開発コード	薬効	起源	特徴	備考
*承認 (03年1月)	ムコダインDS	気道粘液調整 粘膜正常化剤	自社開発	半溶解型製剤で服用しやすく、また小児にも好まれるピーチ味の製剤	処方変更 小児適用 *2003年3月発売

導出品の状況

	製品名・開発コード	導出先	開発段階	薬効	起源	備考
導 出 製 品	ガチフロキサシン 注射剤	グリュネンタール社	Ph /	合成抗菌剤	自社	
	ガチフロキサシン 点眼液	アラガン社	*承認 (2003年3月)	合成抗菌剤	自社	日本、中国、韓国、台湾を除く全世界における 開発、製剤及び販売権を供与 *2003年4月発売
		千寿製薬	*申請中			日本における開発、製剤及び販売権を供与
	KRP-297	メルク社	*Ph (米国)	糖尿病治療剤	自社	日本、中国、韓国、台湾を除く全世界における 研究開発及び販売権を供与

新規事業の拡充 - 新しい事業開発の現状 -

1. ビストナー事業ファンドの状況

- ・設立 2000年9月
- ・出資額 50億円 (既出資額 30億円 **既投資額 14億円**)
- ・対象領域 「医薬品関連」「医療関連」「介護関連」「健康関連」

投資案件

領域
< 医薬品領域 > ゲノム創薬など
< 医療領域 > 代替医療 再生医療 ITなど
< 介護領域 > 施設経営 在宅介護 関連製品など
< 健康領域 > 食品 化粧品など



投資件数	投資先の事業内容
3	<ul style="list-style-type: none"> ・殺菌消毒剤（食肉用等） ・ウイルス性肝炎、関節リウマチ等の治療薬開発 ・機能性ペプチドを用いた創薬、健康食品・スキンケア製品の開発 / 製造 / 販売
4	<ul style="list-style-type: none"> ・C型肝炎の温熱治療装置・治療法の研究開発 ・非侵襲的医療関連計測機器の開発 ・レーザーによる近視治療の事業化 ・医学文献 / 医療情報等のネットワーク配信サービス
3	<ul style="list-style-type: none"> ・有機汚泥処理システム（介護用トイレなど）の事業化 ・介護施設の運営・コンサルタント ・介護ヘルパー用等ASPソフト開発 / 販売
7	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品 / 健康食品通信販売 ・汚水処理用各種担体の事業化 ・証券会社（中国の漢方、健食等の情報強化） ・農業用資材 / 農産物流通事業 ・食品素材開発 ・スキンケア用品開発 / 販売（2社）

合計 17 件投資

2003年3月期 決算概要

財務諸表の概況

損益計算書の概要

< 当期のポイント >

< 連結 >

(単位：百万円)

	0 2 年 3 月 期		0 3 年 3 月 期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	62,395	100.0%	68,618	100.0%	10.0%	6,223
売上原価	19,336	31.0%	21,205	30.9%	9.7%	1,869
売上総利益	43,059	69.0%	47,413	69.1%	10.1%	4,354
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	31,101 (6,031)	49.8% (9.7%)	35,045 (7,009)	51.1% 10.2%	12.7% (16.2%)	3,944 (978)
営業利益	11,957	19.2%	12,367	18.0%	3.4%	409
営業外収益	724	1.2%	822	1.2%	13.5%	98
営業外費用	471	0.8%	384	0.6%	18.3%	86
経常利益	12,210	19.6%	12,805	18.6%	4.9%	595
特別利益	29	0.0%	41	0.1%	37.9%	11
特別損失	3,775	6.0%	4,757	6.9%	26.0%	982
税引き前当期利益	8,464	13.6%	8,088	11.8%	4.4%	375
法人税・住民税 および住民税	6,397	10.3%	6,607	9.6%	3.3%	210
法人税等調整額	2,050	3.3%	2,639	3.8%	28.7%	589
当期純利益	4,117	6.6%	4,120	6.0%	0.1%	20

< 適応範囲及び持分法の適用について >

連結子会社 5 社：(株)杏文堂 (株)ピストナー
ピストナー番号投資事業有限責任組合
Kyorin USA, Inc Kyorin Europe GmbH
持分法適応会社 2 社：日清キョーリン製薬(株)
日本理化学薬品(株)

売上高	0 2 / 3	0 3 / 3 (単位：億円)
< 医療用医薬品 >	5 7 7	6 3 6 (+ 5 9)
うち 国内	4 5 6	5 4 6 (+ 9 0)
海外	1 2 1	9 0 (3 1)

製品別売上	0 2 / 3	0 3 / 3 (単位：億円)
ムコダイン	1 7 5	1 7 1
バクシダール	3 6	2 6
ケタス	7 5	7 0
アブレース	4 3	3 4
ロカルトロール	3 8	3 0
ペンタサ	4 5	5 3
キプレス	3 1	6 4
ガチフロ(自社販売)		4 7
ガチフロキサシン(輸出)	9 8	5 1

< 医薬品事業のその他 >	3 3	3 6 (+ 2)
うち ミルトン	2 9	3 0

< その他事業 >	1 2	1 3 (+ 1)
-----------	-----	-----------

損益計算書の概要：単体 -

< 単体 >

(単位：百万円)

	02年3月期		03年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	61,131	100.0%	67,293	100.0%	10.1%	6,162
国内医療用	45,626	74.6%	54,656	81.2%	19.8%	9,031
海外医療用	12,127	19.8%	9,024	13.4%	25.6%	3,103
その他	3,378	5.5%	3,612	5.4%	6.9%	234

< 当期のポイント >

売上高 67,293百万円 (+61億円)
国内医療用 54,656百万円 (+90億円)

= プラス要因 =

	前期実績	当期実績
[新薬]		
・ガチフロ上市 *杏林売上のみ	0	47 (+47)
・キプレス続伸	31	64 (+33)
・その他	32	65 (+33)
[その他のプラス要因]		
・大日本製薬向けガチフロ売上及び契約一時金収入		
・エーザイとの契約一時金収入など		

= マイナス要因 =

*薬価改定に伴う仕切価の低下(薬価改定率8.2%)

主要既存品計	前期実績	当期実績
・アブレース	43	34 (-9)
・ロカルトロール	38	30 (-8)

海外医療用 9,024百万円 (31億円)

= マイナス要因 =

・ガチフロ	98	51 (-47)
*BMS社の過剰在庫により輸出大幅減		

= プラス要因 =

・メルク、アラガンからの契約一時金収入

その他 3,612百万円 (+2億円)

・ミルトン	29	30 (+1)
-------	----	---------

損益計算書の概要：単体 -

< 単体 >

(単位：百万円)

	0 2 年 3 月 期		0 3 年 3 月 期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上原価	18,376	30.1%	20,229	30.1%	10.1%	1,853
売上総利益	42,755	69.9%	47,063	69.9%	10.1%	4,308
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	30,889 (6,031)	50.5% (9.9%)	34,698 (7,009)	51.6% 10.4%	12.3% (16.2%)	3,809 (978)
営業利益	11,865	19.4%	12,364	18.3%	4.2%	499
営業外収益	572	0.9%	582	0.9%	1.7%	10
営業外費用	621	1.0%	706	1.1%	13.7%	85
経常利益	11,816	19.3%	12,241	18.1%	3.6%	425
特別利益	29	0.0%	40	0.1%	37.9%	11
特別損失	3,775	6.1%	4,622	6.9%	22.4%	847
税引き前当期利益	8,071	13.2%	7,658	11.3%	5.1%	413
法人税・住民税 および事業税	6,318	10.3%	6,532	9.7%	3.4%	214
法人税等調整額	2,033	3.3%	2,506	3.7%	23.3%	473
当期純利益	3,785	6.2%	3,633	5.3%	4.0%	152

< 当期のポイント >

売上原価 20,229百万円 (+18億円)
売上原価率 30.1% 30.1% (±0)

【原価率上昇要因】

薬価改定に伴う仕切価の低下 (薬価改定率 8.2%)

【原価率低下要因】

ガチフロキサシン効果

販管費 34,698百万円 (+38億円)

販管費率 50.5% 51.6% (+1.1ポイント)

【販管費増加要因】

ガチフロ上市による市販直後調査の実施および販売費の増加

希望退職に伴う退職加算の発生、人件費自然増

研究開発費の増加 7,009百万円 (+10億)

* 新薬開発及び創薬研究強化に伴う研究開発費の増加

営業利益 12,364百万円 (+5億)

営業利益率 19.4% 18.3% (-1.1ポイント)

経常利益 12,241百万円 (+4億円)

経常利益率 19.3% 18.1% (-1.2ポイント)

【営業外収益】 10百万円増

【営業外費用】 85百万円増

当期利益 3,633百万円 (-1億)

【特別利益】 11百万円増

【特別損失】 847百万円増

・投資有価証券評価損等 (約13億円)

・退職給付債務の償却 (約31億円) 3年償却最終年

貸借対照表の概要

(単位：百万円)

< 連結 >	02年3月期		03年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年増減額
流動資産	94,697	70.4%	101,095	72.2%	6,397
現金および預金	53,238		57,607		
受取手形及び売掛金	22,444		23,522		
有価証券	3,870		3,523		
棚卸資産	10,510		10,809		
その他流動資産	4,634		5,631		
固定資産	39,774	29.6%	38,866	27.8%	908
有形固定資産	13,894		15,058		
無形固定資産	6,596		5,293		
投資その他	19,284		18,514		
流動負債	17,530	13.0%	15,780	11.3%	1,750
支払手形及び買掛金	7,203		5,003		
その他流動負債	10,327		10,776		
固定負債	14,585	10.9%	18,863	13.5%	4,295
負債合計	32,116	23.9%	34,643	24.8%	2,527
資本金	4,317	3.2%	4,317	3.1%	
資本準備金	949	0.7%			
連結剰余金	97,865	72.8%			
資本剰余金			949	0.7%	
利益剰余金			100,643	71.9%	
その他有価証券評価差額金	342	0.3%	69	0.0%	
為替換算調整勘定	10	0.0%	7	0.0%	
自己株式	443	0.3%	668	0.5%	
資本合計	102,356	76.1%	105,318	75.2%	2,962
総資産合計	134,472	100.0%	139,961	100.0%	5,488

< 当期のポイント >

流動資産 (6,397百万円増)

- ・現金及び預金の増加 (4,368百万円増)
- ・受取手形、売掛金の増加 (1,078百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (299百万円増)
- ・その他(997百万円増)

固定資産 (908百万円減)

- ・有形固定資産の増加 (1,163百万円増)
- ・無形固定資産の減少 (1,302百万円減)
- ・*ミルトンの減価償却など
- ・投資その他 (769百万円減)

流動負債 (1,750百万円減)

- ・支払手形、買掛金の減少 (2,020百万円減)
- ・その他 (449百万円増)

固定負債 (4,295百万円増)

貸借対照表の概要

(単位：百万円)

< 単体 >	0 2 年 3 月 期		0 3 年 3 月 期		
	実 績	構 成 比	実 績	構 成 比	前年増減額
流動資産	9 2 , 6 1 7	69.4%	9 9 , 0 2 3	71.5%	6 , 4 0 6
現金および預金	5 1 , 6 8 1		5 5 , 9 8 6		
受取手形	6 0 4		5 2 3		
売掛金	2 1 , 4 8 0		2 2 , 6 9 4		
有価証券	3 , 7 5 9		3 , 4 1 2		
棚卸資産	1 0 , 4 9 7		1 0 , 7 8 2		
その他流動資産	4 , 5 9 3		5 , 6 2 4		
固定資産	4 0 , 8 0 9	30.6%	3 9 , 4 6 0	28.5%	1 , 3 4 8
有形固定資産	1 3 , 8 5 8		1 5 , 0 1 2		
無形固定資産	6 , 5 9 6		5 , 2 8 9		
投資その他	2 0 , 3 5 4		1 9 , 1 5 8		
流動負債	1 7 , 2 2 3	12.9%	1 5 , 5 2 0	11.2%	1 , 7 0 3
支払手形	1 , 1 5 6		1 , 0 7 7		
買掛金	5 , 5 3 3		3 , 3 5 4		
その他流動負債	1 0 , 5 3 3		1 1 , 0 8 8		
固定負債	1 4 , 4 9 9	10.9%	1 8 , 7 7 2	13.6%	4 , 2 7 3
負債合計	3 1 , 7 2 3	23.8%	3 4 , 2 9 3	24.8%	2 , 5 6 9
資本金	4 , 3 1 7	3.2%	4 , 3 1 7	3.1%	
資本準備金	9 4 9	0.7%			
利益準備金	9 0 5	0.7%			
その他の剰余金	9 6 , 3 4 7	72.2%			
資本剰余金			9 4 9	0.7%	
利益剰余金			9 9 , 5 4 7	71.9%	
その他有価証券評価差額金	3 7 3	0.3%	4 2	0.0%	
自己株式	4 4 3	0.3%	6 6 4	0.5%	
資本合計	1 0 1 , 7 0 3	76.2%	1 0 4 , 1 9 1	75.2%	2 , 4 8 8
総資産合計	1 3 3 , 4 2 7	100.0%	1 3 8 , 4 8 4	100.0%	5 , 0 5 7

< 当期のポイント >

流動資産 (6,406百万円増)

- ・現金及び預金の増加 (4,304百万円増)
- ・受取手形、売掛金の増加 (1,132百万円増)
- ・その他流動資産の増加 (1,031百万円増)

固定資産 (1,348百万円減)

- ・有形固定資産の増加 (1,154百万円増)
- ・無形固定資産の減少 (1,306百万円減)
- *ミルトンの減価償却など
- ・投資その他 (1,196百万円減)

流動負債 (1,703百万円減)

- ・支払手形、買掛金の減少 (2,257百万円減)
- ・その他流動負債 (554百万円増)

固定負債 (4,273百万円増)

主要製品売上の状況

(単位:億円)

	99年3月期	00年3月期	01年3月期	02年3月期	03年3月期		04年3月期 (見込み)	
					実績	前同比		
国内 売 上	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)				31	64	105.4%	94
	ガチフロ(自社販売) (合成抗菌剤)					47		30
	ムコダイン (去痰剤)	143	155	161	175	171	2.2%	185
	バクシダール (合成抗菌剤)	28	26	21	17	12	32.0%	10
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	65	71	75	75	70	6.7%	71
	アプレース (抗潰瘍剤)	44	48	45	43	34	19.9%	30
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	33	38	38	38	30	19.6%	27
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	26	33	40	45	53	16.6%	66
	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	16	30	29	29	30	2.3%	31
海外 売 上	海外売上合計	48	69	86	121	90	25.6%	78
	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)		27	55	98	51	48.0%	65
	ノルフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	38	25	23	18	15	20.3%	10
	海外売上比率	10.5%	13.4%	15.8%	20.1%	13.4%		11.6%
自作品比率	79.6%	83.1%	82.4%	84.0%	86.6%		83.4%	

研究開発・設備投資・減価償却の状況

(単位：百万円)

	99年3月期	00年3月期	01年3月期	02年3月期	03年3月期		04年3月期 (見込み)
					実績	前同比	
研究開発費	5,578	5,764	6,191	6,031	7,009	16.2%	8,700
設備投資(計上ベース)	3,399	1,303	2,465	2,507	3,301	31.7%	7,700
減価償却費	2,932	2,903	2,730	3,207	3,626	13.1%	3,700

< 設備投資の状況(実績/計画) >

(実績)

03年3月期実績

04年3月期計画

キロラボ設備化等研究用設備

10億円

新製品製造設備・製造機械設備(各工場)

16億円

支店社屋新築(仙台)など支店社屋関係

4億円

(計画)

新製品製造設備・製造機械設備(各工場)

37億円

支店社屋・社宅新築

15億円

管理・販売設備

16億円

主な業績項目の推移：連結

< 通 期 >

(単位：百万円)

	99年3月期	00年3月期	01年3月期	02年3月期	03年3月期	04年3月期 (見込み)
売上高 (輸出高)	46,932 (4,804)	52,776 (6,900)	55,832 (8,646)	62,395 (12,127)	68,618 (9,024)	68,600 (7,800)
売上原価 (売上原価率)%	13,817 (29.4%)	16,742 (31.7%)	17,974 (32.2%)	19,336 (31.0%)	21,205 (30.9%)	
販売費及び一般管理費 (販管費率)%	26,748 (57.0%)	27,387 (51.9%)	28,808 (51.6%)	31,101 (49.8%)	35,045 (51.1%)	
研究開発費 (研究開発費率)%	5,578 (11.9%)	5,764 (10.9%)	6,191 (11.1%)	6,031 (9.7%)	7,009 (10.2%)	8,700 (12.7%)
営業利益 (営業利益率)%	6,366 (13.5%)	8,646 (16.4%)	9,049 (16.2%)	11,957 (19.2%)	12,367 (18.0%)	11,000 (16.0%)
経常利益 (経常利益率)%	6,687 (14.2%)	8,795 (16.7%)	9,786 (17.5%)	12,210 (19.6%)	12,805 (18.6%)	11,300 (16.5%)
当期利益 (当期利益率)%	2,325 (5.0%)	4,310 (8.2%)	2,951 (5.3%)	4,117 (6.6%)	4,120 (6.0%)	6,300 (9.2%)
一株当たり当期利益(円)	40.41円	74.89円	51.27円	60.55円	47.21円	72.59円
資本金	3,623	3,623	3,623	4,317	4,317	4,317
総資産	112,007	117,606	125,476	134,472	139,961	
株主資本	92,547	97,868	99,750	102,356	105,318	
一株当たり株主資本(円)	1,607.97円	1,700.20円	1,732.98円	1,187.30円	1,222.61円	
株主資本利益率%	2.5%	4.5%	3.0%	4.1%	4.0%	
株主資本比率%	82.6%	83.2%	79.5%	76.1%	75.2%	
人員	1,857人	1,713人	1,696人	1,731人	1,719人	
設備投資	3,399	1,303	2,465	2,507	3,301	7,700
減価償却費	2,932	2,903	2,735	3,213	3,637	3,700

02年3月期の1株あたりの当期利益は年間期中平均株式数(67,996,650株)にて算出しております。

主な業績項目の推移：単体

< 通 期 >

(単位：百万円)

	99年3月期	00年3月期	01年3月期	02年3月期	03年3月期	04年3月期 (見込み)
売上高 (輸出高)	45,919 (4,804)	51,518 (6,900)	54,671 (8,646)	61,131 (12,127)	67,293 (9,024)	67,300 (7,800)
売上原価 (売上原価率)%	13,074 (28.5%)	15,826 (30.7%)	17,102 (31.3%)	18,376 (30.1%)	20,229 (30.1%)	
販売費及び一般管理費 (販管費率)%	26,578 (57.9%)	27,197 (52.8%)	28,589 (52.3%)	30,889 (50.5%)	34,698 (51.6%)	
研究開発費 (研究開発費率)%	5,578 (12.1%)	5,764 (11.2%)	6,191 (11.3%)	6,031 (9.9%)	7,009 (10.4%)	8,700 (12.9%)
営業利益 (営業利益率)%	6,266 (13.6%)	8,495 (16.5%)	8,980 (16.4%)	11,865 (19.4%)	12,364 (18.3%)	11,000 (16.3%)
経常利益 (経常利益率)%	6,594 (14.3%)	8,595 (16.7%)	9,524 (17.4%)	11,816 (19.3%)	12,241 (18.1%)	10,900 (16.2%)
当期利益 (当期利益率)%	2,336 (5.1%)	4,194 (8.1%)	2,800 (5.1%)	3,785 (6.2%)	3,633 (5.3%)	5,900 (8.8%)
一株当たり当期利益(円)	40.58円	72.87円	48.65円	55.67円	41.63円	67.98円
資本金	3,623	3,623	3,623	4,317	4,317	4,317
総資産	111,697	117,154	124,798	133,427	138,484	
株主資本	92,538	97,740	99,482	101,703	104,191	
一株当たり株主資本(円)	1,607.57円	1,697.94円	1,728.19円	1,179.73円	1,209.54円	
株主資本利益率%	2.5%	4.4%	2.8%	3.8%	3.5%	
株主資本比率%	82.8%	83.4%	79.7%	76.2%	75.2%	
人員	1,823人	1,677人	1,648人	1,671人	1,658人	
設備投資	3,399	1,303	2,465	2,507	3,301	7,700
減価償却費	2,932	2,903	2,730	3,207	3,626	3,700

02年3月期の1株あたりの当期利益は年間期中平均株式数(67,996,650株)にて算出しております。